

## 夢見る子ども育成委員会計画

委員長 草間 竜也  
副委員長 川原 正嗣  
副委員長 堀井 崇寛  
運営幹事 彦坂 宗  
会計幹事 大嶋 賢一

### 〈基本方針〉

昨今、子どもが夢を持てなくなっただと言われますが、夢を持つことは、子どもの成長過程において、必要不可欠な事です。夢をしっかりと描くことにより、今、自分が何をすべきなのかを認識することで「今、何をすべきかの指針」ができ、目の前にある障害でも夢の為と思えば頑張れる「困難に耐える力を育てる」ことができます。そして、一度きりの人生をどう生きたいかという「生きる力」に繋がって行きます。今こそ、無限の可能性を秘めている子どもたちに、夢を持つ大切さを学ぶ環境を作り上げなければなりません。

当委員会では、夢の定義を「大好きなこと・やってみたいことの中に自分の将来像を描き続けること」と考え、次世代を担う子どもたちに夢を持ち続けることの大切さを広め、将来について考え、夢を持つきっかけとなる運動を展開してまいります。その為にまず、上越地域内外で夢を叶え、現在も夢を持って活躍されている方々に、現在に至るまでのきっかけや失敗・挫折しそうになった時の体験談などを調査し、子ども達が夢を持ち叶えるまでを順序立てて考えてイメージし易いものを作成します。そして、それを元に我々 JAYCEE が率先して、コミュニティスクールなどに提案し、子どもたちの元へ出向き、苦勞して夢を実現した人々の生きざまを熱く伝え、将来への選択肢は広く無限の可能性がある事を伝えてまいります。また、苦勞して何かをやり遂げる事で得る達成感を感じてもらうことで、苦勞を乗り越えて夢を叶えるということをし少しでも体感する事業を行います。8月納涼例会では、メンバーやその家族が出席しやすい環境を模索し、家族間の交流を重視して横のつながりを作り、その家族の中心である子どもを核とする、皆で楽しめる例会を開催いたします。

1年を通して多くの子どもたちに夢を持ち続けることの大切さを語り続ける事で、「夢を持ちたい」と思うことができ、様々な事に興味を持つ事で、いつか自分の「夢」に出逢う事が出来ます。そして子どもたちが強く夢を持ち頑張ることで、大人も子どもに感化され、それが相乗効果となり活力のある地域社会に繋がります。

### 委員会職務分掌〈事業内容〉

1. 夢をかなえ輝く大人ライブラリー製作事業の実施
2. 子どもの夢への出会いの扉 事業の実施
3. 8月納涼例会の実施

4. 雪ん子基金の設営
5. キャリアスタートウィークへの協力